

特殊金属エクセル

極薄金属箔の量産体制強化

来年秋めどに設備改造・新設

センサー向け拡販、新分野も開拓

特殊金属エクセル

(本社・東京都豊島区、

社長COO・水谷徳次

郎氏)は、埼玉事業所

(埼玉県比企郡ときが

わ町)において最薄2

マイカルの高機能極薄金属

箔の生産体制を強化する。設備の高機能化と生産性向上を目的に、2026年秋までに極箔専用圧延機の改造と極箔専用巻替え設備の新設を実施する。センサー用途で今後の受注量増加に備えるとともに、航空宇宙や医療機器など幅広い分野への用途展開を図る。▼3面

10マイカル未満の高機能極薄金属箔「極箔」の量産対応を開始した。

最薄2マイカルの極薄金属箔帶を生産できる圧延メーカーは世界に数社のみ。同社の「極箔」

は主にセンサー用途で採用され、ステンレス鋼・銅・ニッケル・チタン合金など多様な材質で最薄2マイカルまでの製造実績を重ねている。

専用圧延機の改造によって、圧延精度をさらに安定化させ、生産性向上も進める。また専用巻替え設備の新設により、極箔製品の巻取りのノウハウを装置化し、高精度で安定的に巻けるようにする。